



えのしろ

平成 30 年 2 月 13 日

三重北小学校

校長 岡本雅代



No.12

学校目標 ゆたかな心を持ち、ともに学び合う子どもの育成

授業を観て…学校運営協議会(コミュニティスクール)



1月20日(土)の土曜授業を活用して、本年度、4回目の学校運営協議会を開催しました。今回は、樋口和美委員長をはじめとした協議会委員の方々に5年1組の授業を参観していただき、本校の取り組みについて、ご意見を聞かせていただきました。本校の取り組みは、特別なことをしているわけではありません。一人一人の「学び」を大切にするため、①聴き合う関係 ②教科の本質に即した学び ③ジャンプの課題 を指導者が、しっかりと研究し、どれも大事にしながら授業を計画しています。特に、「聴き合う関係」は、「教え合い」ではなく、「相手を思いやる優しさ」「分からなさに寄り添う」ことを大事にし、気遣い合える温かな教室づくりを目指しています。委員の方々に、日々の取り組みを観ていただき、次のようなご意見をいただきました。

5年1組 理科「物の溶け方」・・・塩が溶ける様子を観察し、塩がどのようになつたかを考え、モデル図に表す学習



～抜粋～

- 水に浸された袋から塩が溶け出す様子を、どの子も食い入るように観ていた。実験でも、落ち着いて、しっかりと学習に取り組んでいる姿勢に感心した。
- 実験のために指導者がきちんと事前に準備をしていることで、スムーズに学習に入っていた。また、授業後の後片付けも子ども達にさせていた。授業も、教師が教えるのではなく、子ども達に考えさせ、子ども達が考えるまで待つ授業に、いつも感心させられる。
- 子どもが、生き生きとしている。普段から、よくやってもらっていることが分かる。
- 小学校での理科の実験は、とても大切。子どもの人数や学級数は減っているけれども、その分、理科室を多用できる。施設を十分に活かせることが三重北小の利点。

人権フォーラム 開催！！

1月30日(火)に、人権フォーラムが開催されました。毎年、大池中学校から本校出身の1年生がやってきて、現6年生と一緒に人権について考える活動を行っています。まずは、中学1年生と小学6年生が混じって13チームに分かれ、自己紹介から開始です。その後、「世界が100人の村だったら」に挑戦しました。世界に目を向け、様々な困難と闘っている人たちのことを考える機会となりました。



縄跳び集会で記録に挑戦！！



5日(月)に「縄跳び集会」がありました。「縄跳び名人」で短縄の技を披露した後、各学級で長縄の「8の字跳び」に挑戦しました。みんなで声を掛け合い、記録の更新に挑みました。当日は、たくさんの方々の保護者の方々に応援していただきました。ありがとうございました。

PTA本部役員さんにお世話になりました

1月27日(土)の古紙回収は延期となりましたが、雪がちらつく寒い中、PTA本部役員さんたちに、通用口の鉄製門のペンキを塗り直していただきました。門は、見違えるほどきれいになりました。本当にありがとうございました。

